

うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

平成 26 年度実績報告

市民部 環境課

うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 平成26年度 実績報告

うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく、平成26年度におけるうるま市の温室効果ガスの排出量を報告致します。

平成26年度における温室効果ガス（GHG）の排出量実績は、二酸化炭素（CO₂）が19,175 t-Co₂、メタン（CH₄）が68 t-Co₂、一酸化二窒素（N₂O）が184 t-Co₂で合計排出量は、19,427 t-Co₂となっております。

全体排出量の98.70%を二酸化炭素が占め、二酸化炭素排出量の92.20%が電気使用となっております。

参照【資料①：図表1 ・ 資料②：グラフ①・②】

【基準年度比較】

平成26年度の温室効果ガス排出量は、実行計画の基準年度である平成21年度の排出量21,357 t-Co₂と比較し、1,930 t-Co₂の減少となり、削減率については、平成26年度単年度で見ると削減目標率6.0%を上回る9.04%の削減率となりました。

内訳は、二酸化炭素が2,005 t-Co₂の減少、メタンが20 t-Co₂の増加、一酸化二窒素が55 t-Co₂の増加となっております。

メタン及び一酸化二窒素の増加については、ともに石川終末処理場の下水処理量が増加したことに伴うものでありますが、全体排出量の91%を占める二酸化炭素の電気使用については、各部署・各施設等により増減はありますが、全体として21年度20,739,047 kwh から26年度20,605,022kwhと134,025 kwh 減少し、温室効果ガスは、1,940 t-Co₂の削減となりました。

参照【資料①：図表2-1 ・ 資料②：グラフ③・④・⑤】

【前年度比較】

平成26年度の温室効果ガス排出量は、前年度である平成25年度の排出量20,705 t-Co₂と比較し、1,278 t-Co₂の減少、率にして6.17%の減少となっております。要因と致しまして、全体の電気使用が、25年度21,078,763 kwh から26年度20,605,022 kwh と473,741 kwh 減少し、温室効果ガスは1,355 t-Co₂の削減となりました。

参照【資料①：図表2-2 ・ 資料②：グラフ③・④・⑤】

【電気使用量比較】

4庁舎及び100万kwh以上使用しています、各施設の電気使用量を基準年度及び前年度と比較致しますと全体的に減少しております。

4庁舎及び石川終末処理場、じんぶん館、舞天館、ITセンター、小・中学校の総計では、基準年度に対し97,516kwhの増加ではありますが、温室効果ガスは排出係数により1,233 t-Co₂の削減。前年度比較では、540,386kwhの減少、温室効果ガスは1,166 t-Co₂の削減となっております。

参照【資料②：グラフ⑥・⑦】

100万kwh以下の施設においては、ばらつきがあり総計で基準年度に対し、449,276kwhの増加、温室効果ガスは111 t-Co₂の増加。前年度比較では、総計19,102kwhの増加、温室効果ガスは排出係数により143 t-Co₂の削減となっております。

参照【資料②：グラフ⑧・⑨】

【調整後排出係数】

排出係数を電気事業者が京都メカニズムクレジットや国内認証排出削減量等を反映した後の排出係数（調整後排出係数）によると、平成26年度の温室効果ガス排出量は、17,469 t-Co₂となり基準年度と比べると削減率18.2%となります。

参照【資料①：図表3】

【自動販売機設置台数】

平成23年度より確認を行っている清涼飲料水等の自動販売機設置台数につきましては、「省エネ性能の検討」、「適正な台数の検討」、「適正な管理の検討」等の配慮を依頼しているところです。

平成25年度末と比較し平成26年度末では、2台減と3台増で、212台から213台と1台の増加となっております。

参照【資料①：図表4】

【図表1】 温室効果ガス 項目別排出量(平成26年度実績)

二酸化炭素 (Co2)	項目	ガソリン	灯油	軽油	A重油	液化石油ガス	電気使用	計	
	ガス量 (t-Co2)	386	12	168	868	62	17,679	19,175	
	全体の割合 (%)	1.99%	0.06%	0.86%	4.47%	0.32%	91.00%	98.70%	
	Co2内での 割合(%)	2.01%	0.06%	0.88%	4.53%	0.32%	92.20%	100.00%	
メタン (CH4)	項目	下水処理量						計	
	ガス量 (t-Co2)	68						68	
	全体の割合 (%)	0.35%						0.35%	
	CH4内での 割合(%)	100%						100%	
一酸化二窒素 (N2O)	項目	下水処理量						計	合計
	ガス量 (t-Co2)	184						184	19,427
	全体の割合 (%)	0.95%						0.95%	100%
	N2O内での 割合(%)	100%						100%	

※メタン(CH4)及び一酸化二窒素(N2O)は、温暖化係数を掛け二酸化炭素(Co2)換算にて算出

※温暖化係数とは、Co2を1とした場合の相対値 Co2=1 CH4=21 N2O=310

【図表2-1】 温室効果ガス 排出量実績(基準年度比較)

単位：t-Co2

計画	二酸化炭素 (Co2)	メタン (CH4)	一酸化二窒素 (N2O)	温室効果ガス計 (GHG)
基準(平成21年度)	21,180	48	129	21,357
実績(平成26年度)	19,175	68	184	19,427
増減量	-2,005	20	55	-1,930
増減率	-9.47%	41.67%	42.64%	-9.04%

【図表2-2】 温室効果ガス 排出量実績(前年度比較)

単位：t-Co2

計画	二酸化炭素 (Co2)	メタン (CH4)	一酸化二窒素 (N2O)	温室効果ガス計 (GHG)
前年度(平成25年度)	20,492	58	155	20,705
実績(平成26年度)	19,175	68	184	19,427
増減量	-1,317	10	29	-1,278
増減率	-6.43%	17.24%	18.71%	-6.17%

※メタン(CH4)及び一酸化二窒素(N2O)は、温暖化係数を掛け二酸化炭素(Co2)換算にて算出

※温暖化係数とは、Co2を1とした場合の相対値 Co2=1 CH4=21 N2O=310

【図表3】 年度ごとに用いる沖縄電力(株)の二酸化炭素排出係数

年度	実排出係数 (t-Co2/kwh)	調整後排出係数 (t-Co2/kwh)	備考
平成21年度	0.000946	0.000946	H21/12/28 発表
平成22年度	0.000931	0.000931	H22/12/27 発表
平成23年度	0.000935	0.000692	H24/1/17 発表
平成24年度	0.000932	0.000692	H24/11/6 発表
平成25年度	0.000903	0.000692	H25/12/19 発表
平成26年度	0.000858	0.000763	H26/12/5 発表

※二酸化炭素排出係数とは、環境省報道発表より毎年発表される係数です。電気事業者ごとに電気使用量当たりの二酸化炭素排出量を算出するために使用する係数です。

※実排出係数とは、実際に電気事業者が発電に際し1kwhの発電にあたり発生させる二酸化炭素の量を算出したものです。

※調整後排出係数とは、電気事業者が京都メカニズムクレジットや国内認証排出削減量を反映した係数です。

【図表4】 自動販売機設置状況

自販機設置部局	平成24年度	平成25年度	平成26年度	26年度増減
教育部	88	87	87	0
指導部	0	0	0	0
都市計画部	46	44	44	0
経済部	38	44	46	2
総務部	25	25	23	-2
福祉部	7	7	8	1
消防本部	4	4	4	0
水道部	1	1	1	0
計	209	212	213	1